

安城市の地域課題に挑戦したい事業者求む！！

参加費
無料

公民連携地域課題解決事業

課題説明会

安城市では、行政が抱える課題と民間事業者の持つ解決技術をマッチングさせ、市民サービスの向上と地域課題の解決を目指す「公民連携地域課題解決事業」を実施しています。

今回の「課題説明会」では、本市職員が安城市の抱える課題についてご説明します。安城市と共に課題解決に取り組んでいただける事業者の皆様のご参加をお待ちしております！

日時

2025年 9月 10日 (水) 13:00 - 17:00

※入退場自由

場所

へきしんギャラクシープラザ 202会議室

開催
方法

対面・オンライン

こんな事業者を
お待ちしております！

- ・「地域課題」や「ソーシャルインパクト」などに関心がある。
- ・地域の課題を自社のリソースで解決してみたい。
- ・まずは安城市の課題を知りたい。

定員

30名 (対面式)

※オンライン参加の定員はありません

説明会の内容

- ・安城市公民連携事業の概要
- ・安城市が抱える課題の説明
- ・個別相談（本市職員と個別に情報交換ができます）

お申込みは9月3日(水)まで！

申込フォーム



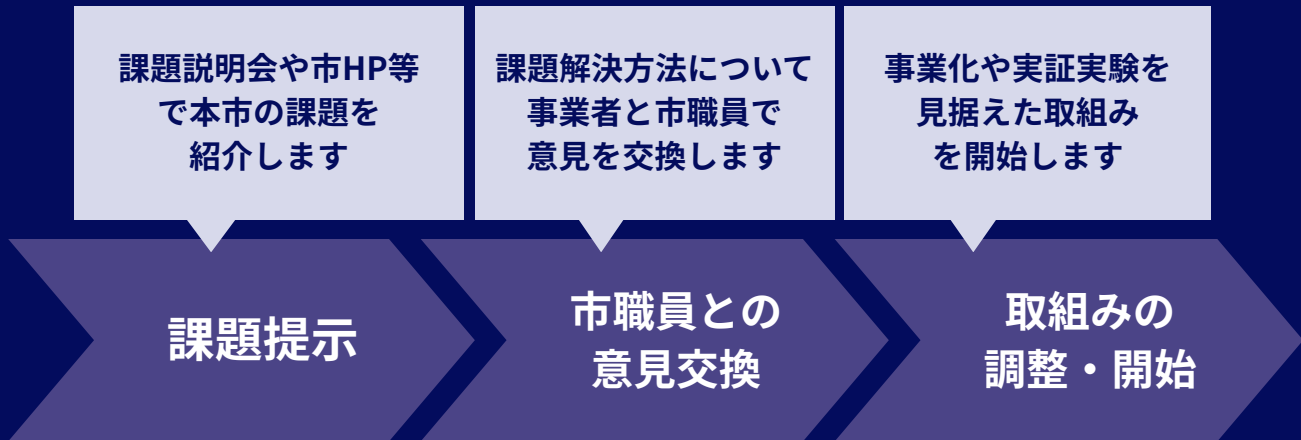
主催：安城市 企画政策課 公民連携係

お問い合わせ



anjo.kouminrenkei@e-scb.co.jp

課題解決に向けた流れ



実証実験について

- 実証実験に係る費用は、必要に応じて安城市が負担します。ただし、実証実験に係る費用には上限があり、他の課題の実証状況により負担できないことがあります。
※実証実験の事業総額は100万円です。金額は安城市との協議により決定します。
- 実証実験の実施は、予算化・事業化を確約するものではありません。

過去の実施事例

税金支払いのリマインド革命！ 発送される督促状の数を減らしたい！

納税課 ・ 株式会社ボイジャー

背景

- 納付期限を過ぎた場合、督促状を送付。督促状は、多い月だと約4,000通

コアな課題

- 督促状を減らすため、納税者が納付期限を忘れないような仕組みを作る。

ソリューション：安城市公式LINEによる市税リマインダー

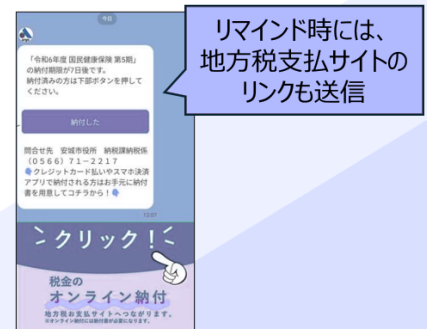
…市公式LINE友だち登録者、かつリマインド設定をした方を対象に、市税納期限の7日前と1日前にリマインダーを送信

効果例

⇒督促状発送数が過去2年間と比較して減少

今後の課題例

- LINE登録者およびリマインド設定者をどのように増やすか。



納期限	税目 期別	R4	R5	R6 (今回)
12月末期限	固定3期	2960	3034	3011
	国保6期	2052	2055	1982
	合計	5012	5089	4993

課題説明会イメージ

会場：へきしんギャラクシープラザ2階

個別相談



担当課職員と事業者による
一対一の相談ができます。

201

個別相談会場

課題説明会



担当課の職員が、課題について
説明をします。

202

課題説明会会場

WC

階段

受付

EV

【個別相談参加に係る注意事項】

- 申込後に運営から個別相談参加に係る案内メールを送付します。メールに記載のURLから、個別相談の希望（個別相談したい課題、時間帯）を入力してください。
- 個別相談参加申込後に、個別相談の時間等を記載したメールを別途送付します。メールに記載された時間に、個別相談会場（201室）へ移動していただきます。
- オンライン参加の場合、別途オンライン会議用のURLをお送りします。

安城市の抱える課題例

課題1：利用していない市の土地を活用したい！

担当課 資産経営課 資産経営係

解決したいこと

利用していない市の土地を有効に活用できる提案を求めています。

背景・現状

令和7年1月に、令和3年度まで稼働していた旧北部調理場（安城市池浦町曲尺手65付近）を解体しました。しかし、解体後の土地は活用されていません。土地の条件は、以下のとおりです。

面積：6,137m²

区域：市街化調整区域

住所：愛知県安城市池浦町曲尺手65

その他：30～40年後には、この土地へ再び調理場を建て替える可能性があります。

課題

現在、北部調理場は別の場所に移設されましたが、30～40年後にこの土地へ再度建設する可能性があります。それまでの期間、この土地は別の用途で活用したいと考えていますが、現状は、利活用の方法が定まっておらず、維持費のみかかっている状況です。



提案して欲しいこと

将来の調理場建替用地として活用する可能性があるため、30～40年間活用できる方や利活用アイデアを探したい。

安城市の抱える課題例

課題2：中小企業の脱炭素経営を推進したい！

担当課 環境都市推進課 カーボンニュートラル推進室 温暖化対策係

解決したい
こと

脱炭素経営を促進するため、“カーボンニュートラル”＝“資金、人材面にもよい取り組みである”ことが浸透し、中小企業の経営改善の一手段として認識が広まってほしい。

背景・現状

カーボンニュートラルの実現に取り組むにあたり、今後はサプライチェーンを通じて中小企業も対応を求められる可能性があります。中小企業の中には資金・人材が不足していて、カーボンニュートラルへの対応が負担になっている事業者がいます。

課題

カーボンニュートラルの体制に無理なく対応できるよう、数社に対して、脱炭素に資する支援策を行いたいです。具体的には、企業の「省エネ」に資する策を検討しています。CO2排出量が削減できた際には、企業が実践した進め方や取り組みを、「脱炭素経営モデル」として取りまとめ、市内中小企業に広めたいと考えています。



すでにセミナーや設備導入補助金等は実施していますが、訴求力があまりないため、新しい打ち手を見つけないと考えています。

提案して
欲しいこと

「中小企業の脱炭素経営を促進するため、実践できる省エネ支援策を数社に対して行う」および「省エネ＝節約になるということを伝える」アイデア

課題3：要介護世帯のごみの戸別収集を効率的に行いたい！

担当課 ごみ資源循環課 環境クリーンセンター 施設管理係

解決したい
こと

- ① 頻繁に変わる収集先を効率的に回れるような仕組みをつくりたい。
- ② ごみ収集時に収集先の状態を記録し、いつでもどこでも記録を確認できるようにしたい。

背景・現状

本市では、家庭ごみをごみステーションまで出しに行くことが困難な世帯（要介護1以上のみ世帯）を戸別訪問し、ごみを収集するとともに安否確認を行う「あんしんふれあい収集」を令和7年度より実施しています。戸別訪問は市職員が行っており、今後も職員が実施する想定です。

課題

ごみの戸別収集にあたり、対象者が急に不在になるケースや渋滞に巻き込まれるケースが想定されます。その際、収集ルートの変更が必要ですが、収集員の土地勘や経験値に頼らざるを得ない状況になっています。

また、安否確認の際にごみ出しの様子や身の回りの状況を写真を含め記録し、記録を随時確認することで対象者の変化を見逃さないようにする必要があります。



提案して
欲しいこと

効率的な収集ルートを自動で作成する仕組み、及び安否確認の記録・確認がいつでもどこでもできる仕組み。



課題説明会では、**上記以外の課題も紹介予定です。**

その他の課題は市HPへ随時掲載していきます！ 詳細はこちら➡

